



只見町ブナセンターだより

〈ごあいさつ〉 この冬の只見は寒さが厳しく感じられます。昨冬は数年来の大雪で除雪が大変ではありましたが、まだ今季に比べれば穏やかな晴れ間もあったように思います。ところが、今季は寒い上に荒天続きで、猛吹雪で外出もままならないほどの日も少なくありません。他方、新型コロナウイルスが6度目となる全国的な猛威を振るっており、またしばらく我慢の日々が続きそうです。それでも今年こそは、コロナ禍前と同様とまではいかずとも、皆様とお会いできる機会が増えることを職員一同、心待ちにしております。その日まで、皆様におかれましてはくれぐれもご自愛ください。

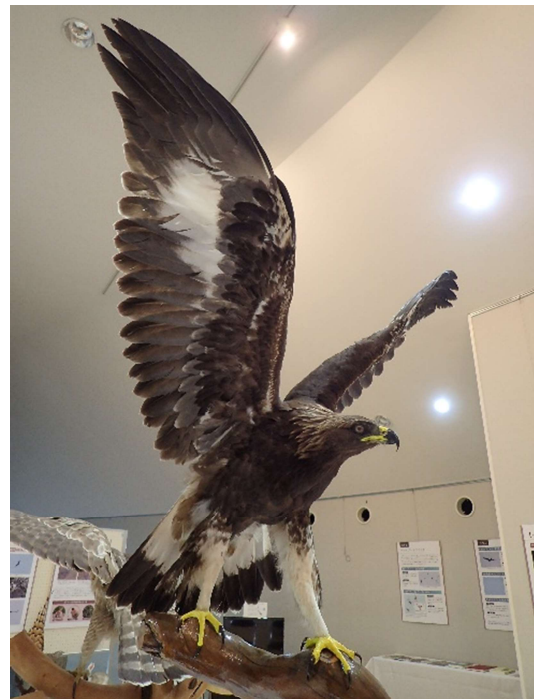
===== 開 催 中 =====

【企画展】

只見の猛禽類 ～展示の見どころ紹介！～

この展示一番の目玉は、町内にも生息する絶滅危惧種・イヌワシの剥製標本です。福島県立博物館の所蔵で、2m近くある翼を広げた、威風堂々たる姿に圧倒されること間違いなしです。翼や尾羽には白い部分がありますが、これは若い個体特有の特徴で、白と黒のコントラストもまた美しく感じられるでしょう。

そのほか、ミサゴやクマタカの剥製に加え、それらが餌とする中小動物たちも展示しており「食う-食われる」の関係性を学ぶことができます。テレビではイヌワシの飛翔する様子などを映した貴重な記録映像を公開中です。また、会場に巡らされた合計31枚の解説パネルでは、豊富な生態写真を交えつつ、各種の生態を分かりやすく紹介しております。



▲展示中のイヌワシ幼鳥の剥製

企画展「只見の猛禽類」は、只見のワシタカ類を詳しく知ることができる絶好の機会です！ぜひ会場へお越しくださいませ！！

■会 期：2021年12月4日(土)～2022年4月4日(月)

■場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

===== 開 催 案 内 =====

【講座・観察会】

2/26 講座「ワシやタカという生きもの」

2/27 観察会「冬の水鳥とワシタカ観察会」

開催中の企画展「只見の猛禽類」に関連した講座と観察会を開催します。講座講師には公益財団法人・日本自然保護協会参与の横山隆一氏をお迎えします。観察会は滝湖で行い、カモなどの水鳥や猛禽類の観察が期待できます。皆様のご参加をお待ちしております（要事前申込み）。なお、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、講座・観察会の開催方法の変更あるいは開催を中止する場合があります。

	講座「ワシやタカという生きもの～強 そうなのになぜ絶滅危惧種になるのか～」	観察会「冬の水鳥と ワシタカ観察会」
開催日	2022年2月26日（土）	2022年2月27日（日）
集合時間	13:30	10:00
集合場所	只見振興センター 1階ホール	河井継之助記念館駐車場
終了時間	15:30 ごろ	12:00 ごろ
お申込み	電話 0241-72-8355 までご連絡ください お申込みの締め切りは 2月25日（金）	

■観察会について＜参加費＞高校生以上 400 円／小・中学生 300 円／町内在住の小・中学生・高校生 100 円＜持ち物＞双眼鏡、防寒具、飲み物、軽食、マスク

【オンライン発表会】

令和3年度「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業

「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会を開催します！

「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業は、ユネスコエコパークに登録された只見町の自然環境・生物多様性や民俗・歴史の調査研究に取り組む研究者などに町が助成を行い、それらの科学的評価を行うとともに、只見町の新たな価値の発見、各研究機関との交流の推進、研究成果の活用を図ることを目的とした事業です。助成を受けた研究者らの研究成果について、下記の通りインターネットなどを利用した形でご報告いただきますので、ご自宅などでぜひご参加いただき、只見町の新たな魅力をご発見ください。

■開催期間：2月5日（土）～3月31日（木）

■参加（視聴）方法：只見町ブナセンターホームページ内の特設ページから動画を再生、もしくは「ただみ・ブナと川のミュージアム」館内で視聴（入館料は不要です）

▼特設ページ
はこちら



■発表内容：※一つの発表時間（動画再生時間）は25分程度です。

「只見町木ノ根沢集水域におけるゼンマイ個体群の分布～生活史段階に着目して」

①：武藤実緒（横浜国立大学大学院環境情報学府）、近藤博史（横浜国立大学大学院環境情報研究院）、酒井暁子（横浜国立大学大学院環境情報研究院）

「只見町の古民家は何の木で作られているのか？」

② ～2015年から2021年の調査のまとめと今後の展望」

：阿部侖奈（信州大学大学院理工学研究科）、岡本誠矢、土本俊和（信州大学工学部）、井田秀行（信州大学教育学部）

③ **「只見ユネスコエコパークおよび周辺域における生態系マップ作成」**

：平山英毅（東京情報大学）、原慶太郎（東京情報大学）

===== 活 動 報 告 =====

【講座】 10月23日（土）

「ブナを利用する昆虫たち」を開催

本講座では、福島県内の昆虫相に詳しく、蛾類や水生昆虫類を専門とされる、三田村敏正氏（福島県農業総合センター浜地域研究所）を講師にお招きし、ブナ林に特徴的な昆虫や只見で記録のある^{とうちゅうか そう}冬虫夏草、そして近年国内で確認された外来昆虫のことなど幅広くお話いただきました。参加者は20名（会場13名、オンライン視聴7名）でした。



▲会場の様子

ブナ林に生息する昆虫では、カンスゲ類（ミヤマカンスゲなど）の葉を食べるヤスマツケシタマムシが紹介されました。奥会津地域でヒロロと呼ばれるカンスゲ類は、カゴやミノなどの編み組み細工の材料として身近な存在です。ヤスマツケシタマムシは体長3~4mmと小さく、秋口に現れてヒロロの葉の表面を直線状に食べます。その痕は白い線となって残るため、これが本種を探す手がかりになるとのことです。



▲三田村氏の標本を鑑賞する参加者

冬虫夏草と呼ばれる昆虫やクモに寄生するキノコのことについても紹介され、只見か

らはこれまで 30 種近く記録があるとのことでした。甲虫やカメムシの幼虫、トンボ、ハエ、ハチなど様々な分類群を宿主としており、その色や形は種によって異なります。只見町では新種と思われるものも記録されており、今後も詳しく調査すれば、さらに種数が増える可能性があるとのことでした。

三田村氏は最後に、最近話題になった外来昆虫、ツヤハダゴマダラカミキリとサビイロクワカミキリの生態や近似種との違いについて、標本を見せながら解説されました。

本講座の録画動画は、ブナセンターYouTube チャンネルにアップしています。ぜひご覧ください。

【自然観察会】 10月24日（日）

「恵みの森でブナの紅葉を見よう」を開催

前日に引き続き三田村敏正氏を講師として、布沢地区の恵みの森で秋の自然観察会を開催しました。17名の参加者と、大滝沢沿いの色づき始めたブナ林を歩きながら、生きものを探しました。

散策路の途中の渡渉地点では、シマアメンボが見られました。アメンボの間は、池沼や小さな水たまりなど止水域に生息する種が



▲沢を渡る参加者



▲紅葉し始めた恵みの森のブナ林

ほとんどですが、このシマアメンボは山間部の比較的緩やかな流れに集まります。体長5mmほどで、楕円形の体と独特の縞模様から他種と一見して区別できます。

沢沿いの林床に生えているチマキザサの葉には、様々な形の穴が空いていました。葉を裏返していくと、ササの葉を食べて育つヒメクロバという蛾の幼虫を複数確認することができ、葉に空いた穴はこの蛾の仕業であることが分かりました。幼虫の傍らには小さな白い繭があり、それがヒメクロバに寄生したコマユバチ類のものであることを三田村氏が解説しました。

ヒロロ（カンスゲ類）が生育する場所では、前日の講座で三田村氏が紹介したヤスマツケシタマムシを探しました。三田村氏がすぐにヤスマツケシタマムシの成虫を発見し、それに続いて参加者も葉の表面に付けられた食痕をたよりに成虫を見つけることができました。

上記のほかにも様々な生きものが観察されました。オオナミザトウムシという人の手のひらほどもある大きなザトウムシ、ボーベリア菌に感染したシロチャチホコ（鱗翅目）

という蛾の幼虫、樹木では沢沿いに生えるムラサキシキブやサワフタギ、ケアブラチャンなどの実を見ながら、秋の恵みの森のブナ林を楽しむことができました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

【自然環境・生物多様性の保護・保全】 10月14日(木)・24日(日)

「ただみ観察の森」(余名沢と坂田のブナ二次林)の整備を実施

只見町ブナセンターでは、只見ユネスコエコパーク地域内の自然環境や野生生物の実状を理解し、身近に触れてもらうため、また、その保全を図ることを目的として、アクセスしやすい代表的な森林を「ただみ自然観察の森」として指定し、整備を行っています。

これまでにブナ林など7ヶ所の森を指定していますが、この度、新たに2ヶ所の森(深沢区ブナ二次林、坂田区ブナ二次林)を指定・整備しました。10月14日(木)は、深沢区のホテル^{ときさとゆり}に隣接した余名沢のブナ二次林にて、地元深沢区との理解と協力のもと、ブナ林までの歩道整備(標柱の設置)をブナセンター職員および湯ら里職員で実施しました。10月24日(日)には、坂田区の個人が所有するブナ二次林にて、坂田区民の方々とブナセンター職員で歩道の刈り払いや、標柱の設置を実施しました。



▲余名沢ブナ二次林



▲坂田ブナ二次林の整備に参加した区民の皆様ら

「ただみ自然観察の森」は集落に隣接しているため、入林を希望される場合は只見町ブナセンターまでお問い合わせください。

===== お 知 ら せ =====

【動画紹介】

ネット企画展「只見の猛禽類」



開催中の企画展「只見の猛禽類」を紹介した動画を配信しています。右のQRコード(ブナセンター公式YouTubeチャンネル)からご覧いただけます。

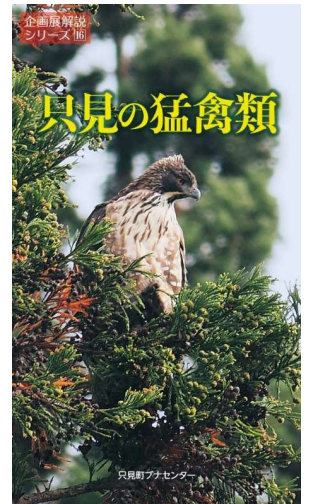
▼動画はこちら



【刊行物】

企画展解説シリーズ No.16 只見の猛禽類

開催中の企画展「只見の猛禽類」に併せて販売中です。企画展会場では、剥製資料や写真を中心として「観て楽しんでいただく」展示を目指しておりますが、解説パネルの内容をさらに詳しく紹介しているのが本書です。ただみ・ブナと川のミュージアム、ふるさと館田子倉、あるいは通信販売にてご購入いただけます。詳細はブナセンターホームページをご覧ください。



只見町ブナセンター 2021年度行事一覧(予定)

	2月	3月
講座・観察会	2/26(土) 講座「ワシやタカという生きもの ～強そうなのになぜ絶滅危惧種になるのか～」 2/27(日) 観察会「冬の水鳥とワシタカ観察会」	
発表会	2/5(土)～3/31(木) 令和3年度学術調査研究発表会(オンライン)	
企画展	2021/12/4(土)～2022/4/4(月) 企画展「只見の猛禽類」	

<編集後記>

冬の只見には鳥がほとんどいません。特に小鳥の姿が少なくなります。なぜかと言うと、大雪が地表や草むら、藪を覆い隠し、小鳥の餌や隠れ場所がなくなってしまうからです。そのため、多くの鳥は雪のない地域へ渡っていきます。冬の只見に留まる鳥は、オオハクチョウなどの水鳥や、クマタカ、セキレイの仲間などに限られます。只見の冬は、人だけでなく鳥たちにとっても厳しい季節なのです。(太田)

発行 只見町ブナセンター

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地



只見町ブナセンター



電話 0241(72)8355

ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>

FAX 0241(72)8356

電子メール info-buna@amail.plala.or.jp

Facebook <https://www.facebook.com/tadami.buna>

附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」・「ふるさと館田子倉」

開館時間：午前9時～午後5時(最終受付は午後4時まで)

休館日：火曜日(祝祭日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)

入館料：高校生以上310円 小・中学生210円 只見町内在住の小・中・高校生 無料
(20人以上は団体割引)